

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ローグ・アサシン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ローグ・アサシン

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

比較対照ボール：ローグ・ブレード

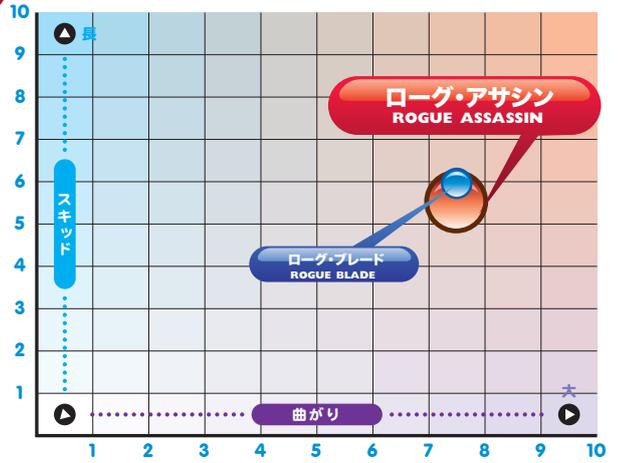
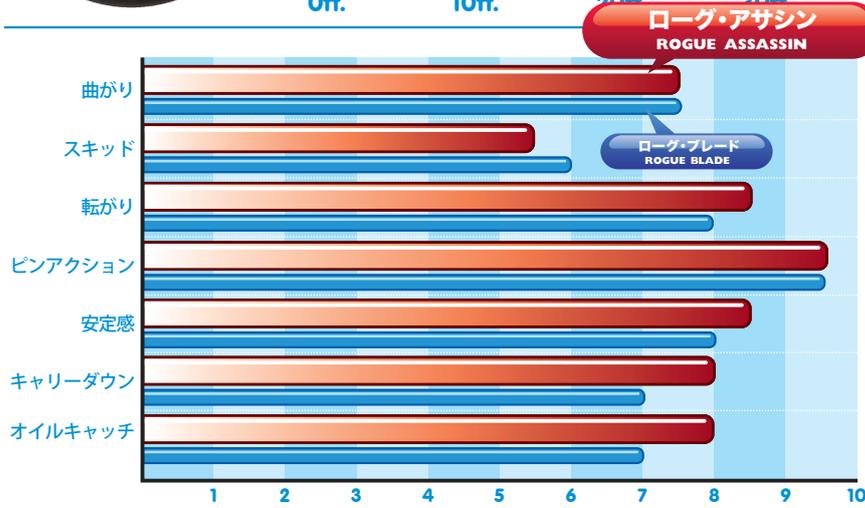
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

MOTIV社でベンチマークの役割を果たすボール。それはミディアムオイル対応でコントロールしやすい領域。MOTIVエンジニアは実績のあるコアデザインと実績のあるカバーストックを選択し、Rogue Assassinを提供します。

今回採用するSigma コアは過去SR2、SIGMA、FORZA SS、Rogue BLADEで採用されましたが、いずれのボールも低めのRGが現れる丸みを帯びた、扱いやすく安定感が全面にわたる性能でした。このRogue AssassinはJackal Ghostで最初に使用されたCoercion HFS Reactiveを纏うことで、レーンの中盤から大きく摩擦を増加させ、コントロールできる軌道を生み出すことを目的として、ミディアム領域であえてCoercion HFSという選択もRogue Assassinを投球してみると、そのマッチングも良く知ることができます。

テストングの第一印象は、「派手ではなく、実用性の高いボール」のイメージを感じました。大きく出し戻すイメージのラインよりも、ややタイトにオイルを使いながらのラインには絶妙な強さを発揮しますし、ミディアムオイルのコンディションで中盤から強めに曲がり始めながらの強めに寄るイメージの運動性は、バックエンドの動きでラインを取るイメージではなく、中盤で一度曲がり始めるラインを合わせ、ピンヒットまでのラインを取るようにも私には感じました。不思議なのはカバーがCoercion HFSですが、MITOV社がミディアムに合わせるとこれほど手前のイメージを変えられるのかと、カバーだけの印象だけを比較すると、Jackal Ghostの手前のイメージよりはるかにスムーズさを感じます。Rogue Assassinは他のボールで先の動きが暴れる場合、オーバーアクションが出る傾向のコンディションで的確にポケットへ運べ、やや短めのフレッシュなコンディションでも幅を取り過ぎずにラインを取れるでしょう。

特記事項

コントロールできる扱いやすいコアにJackal GhostのCoercion HFSで、積極的にMediumコンディションを攻めるボールとして開発されました。先で暴れるコンディションで武器になります！